

平成26年度 中央区立久松小学校 自己評価報告書

中央区立久松小学校 住所 東京都中央区日本橋久松町7-2
校長 酒井寛昭
児童数 471人 学級数 15 教職員数 44名

教育目標

「強 く」「正 し く」「豊 かに」

- 心身ともに健康で、自律と自立のための強い意志と向上心を持ち、自らよりよい成長を目指す。
- ものごとを正しく見つめ、正しい判断と行動のできる主体性を身に付ける。
- 豊かな心情や創造性を高め、互いに尊重し合い、思いやりの心を持ち、共生社会の担い手となる。

26年度の重点

生きる力の育成（主体性、関わる力、健康・体力）

重点目標1 **「豊かな心と健やかな体の育成」**・・・知・徳・体のバランスと調和を重視し、
二極化の解消をめざす 特に豊かな心と健やかな体を育てる。

- 評価項目 (1) 違いを認め、互いに尊重しあい学び合う集団づくりを通し**温かい人間関係**を育む。(主体性・関わる力)
- ・小集団活動の推進
 - ・異年齢活動・交流活動の推進
- (2) 自らの健康・体力についての関心を高め、自己管理能力を育成するため、体育・保健学習・食育を重視した健康教育を推進する。(健康・体力)
- ・体育・保健学習・食育の充実
 - ・ロング放課後遊びの実施
 - ・マイスクールスポーツの充実
- (3) 基本的な生活習慣、ルール・マナーなどの**規範意識**の定着を図る。(主体性・関わる力)
- ・「返事・挨拶・ありがとう」や久松しぐさの指導の充実
 - ・5分前行動の徹底
- (4) 物事を正しく見つめる力、自ら課題を解決し実行できる力を育てる。(主体性・関わる力)
- ・学び合いや体験を重視した課題解決型学習の実施
 - ・少人数指導の徹底と個に応じた指導の充実

評価指標

豊かな心、思いやりのある心、基本的な生活習慣の定着、関わる力の育成
重点化した教育課題の全体計画の作成と実行(生きる力全て)

- (1) ・認め合い励まし合える小集団活動
 - ・幼稚園との交流給食、全校縦割りのふれあいタイム
 - (2) ・休み時間、ふれあいタイム、なわとびカード、なわとび名人
 - ・学びを深める小集団活動、土曜参観(5・6年お弁当)、器械運動・水泳サポート教室
 - ・ロング放課後遊びの充実
 - ・保健学習や食育の指導時間と内容
 - (3) ・登下校・授業での挨拶、久松しぐさ集会、勤労感謝集会
 - ・全校朝会、集会活動
 - (4) ・課題解決能力を高める小集団活動
 - ・算数少人数指導、個に応じた課題解決学習
 - ・学力調査(国・都・区)
- ※(1)～(4)の共通評価指標：教員・保護者・児童アンケート、外部評価委員の評価(8割以上)

1 重点目標の達成状況と取組状況

「小集団活動の推進」「異年齢活動」「体育・保健・食育を重視した健康教育」等については一定の成果が見られた。評価指標の項目についても、9割以上の達成率であった。

しかし、「基本的な生活習慣、ルールやマナーなどの規範意識の定着」「豊かな心の育成」については、数年来の大きな課題であるので、具体的方策を重点化し次年度も進める必要がある。

さらに、本校では、学力調査、体力テスト、生活アンケートなどの結果から、学力・体力・基本的な生活習慣に二極化の傾向がまだ大きく見られるため、来年度もB時程の活用の推進などきめ細かな個に応じた指導を充実させていきたい。

2 27年度に向けた取組

① 思いやりの心、関わる力の育成(コミュニケーション能力の育成、小集団活動の充実)

各教科の学習・特別活動・奉仕活動・学校行事等の中で、小集団活動、体験活動を充実し、関わる力、コミュニケーション能力の育成を図り、豊かな心を育てていく。

→発達に応じ、ペアや小グループ、小集団での活動を各教科等に意図的・計画的に取り入れる。(言語活動の充実も図る。)

→遊ぶ時間の確保、異学年交流(兄弟姉妹学級)、幼小連携(1・3・5年を重点的に)を充実する。

→児童集会等の特別活動の充実、体験活動、栽培・奉仕活動をより推進する。

② 運動に親しむ機会、体を動かす楽しさを味わう機会の充実

遊ぶ時間を確保(放課後遊び)し、体を動かしたり、運動に親しんだり、友達と関わったりする機会を充実させる。

→なわとび・水泳への取組と休み時間の活性化(遊びの多様化)

→ロング放課後遊びの一層の充実

③ 体育・保健学習・食育を重視した健康教育の推進(健康・体力への関心、実践力の向上)

→体育の授業の充実

・運動学習、保健学習の年間指導計画の見直し

・運動量と学習量の豊富な学習

→早寝・早起き・朝ごはん・ゲームをやめて外遊び、4～6年のお弁当づくり、食育教室等、家庭と連携し、発達に即した食育への取組(全体計画・年間計画に基づいた活動)

重点目標2 「年間を通した教育課程の充実」

評価項目 (1) 次期学習指導要領の改訂点の確認と実践、変わらぬ部分の確認と実践
道徳・理数系・体力・外国語活動・教育計画(年間指導計画・重点化した教育課題の全体計画・評価規準)、土曜公開

(2) 学校評価の積極的な活用 アンケート・外部評価の充実と活用

・学校だより、運動会・展覧会、外国語活動の授業公開、土曜公開、日常の公開、外部評価委員会

評価指標

(1)・教員・保護者・児童アンケート、外部評価委員の評価(8割以上)

(2)・教員・保護者・児童アンケート、外部評価委員の評価(8割以上)

1 重点目標の達成状況と取組状況

評価指標の項目については、9割以上の達成率であった。しかし、増築工事に伴う保護者や地域からの不安の声も聞かれた。「校内環境の安全」「安全教育の推進」については、次年度に向けてより一層しっかりと準備を進めていきたい。

また、土曜公開や外国語活動の充実等についても、教員・保護者の声を受け、今年度の課題については整理し、次年度に向けて準備を進めていきたい。

2 27年度に向けた取組

① 豊かな心、温かな人間関係を育む教育の推進

いじめ・不登校、児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応のために、児童の実態把握を常に心がけ、職員朝会等で日常的に情報の共有を図り、全校体制で取り組む。さらに、「学校いじめ防止基本方針」の策定を受け、いじめ防止のための対策を総合的且つ効果的に推進する。

② 生活安全・災害安全・交通安全の視点に立った安全教育の推進

増築工事期間中の安全、防犯等地域の実態に応じた安全指導を行うため、「計画的な安全教育の実施」「安全指導に関わる全体計画・年間指導計画等の見直し」「実践的な避難訓練・引き渡し訓練の実施」等の見直しを行った。特に、遊び場所が限定される中で、時程を工夫して学年ごとの遊び場所を確保する取組は、怪我の減少にもつながる大きな成果が見られたため、次年度も引き続き実施したい。